



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



10月25日、多度志小学校の児童16名がそば打ち、黒米ちらし寿司作りを体験♪
地元 多度志産の新そば&新米を存分に楽しみました！

→記事の詳細は7ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram

JA.KITASORACHI

目次

- ふかがわアップルフェスタ2023 2
- ホクレンくるるの杜で「農産物フェア」開催 .. 4
- イペ・トイ・レシカ
～おにぎらず&パフェ作り・閉校式～ 8
- 年末・年始 営業時間のお知らせ 13



ふかがわアップルフェスタ2023



10月28日、29日の2日間、深川市道の駅「ライスランドふかがわ」で「ふかがわアップルフェスタ2023」を開催した。当イベントは、毎年りんごが旬を迎えるこの時期に開催されており、今年は当JAが主催した。

店頭には大人気の「紅将軍」の箱売りや市場流通の少ない「おいらせ」、黄色品種の「もりのかがやき」、「トキ」など、りんご12種類と併せ和梨の「千両梨」や「バラード」など洋なし5種類が並び約2,200商品の販売を行った。来場客は販売担当に「甘い品種はどれですか?」「日持ちするリンゴはどの品種ですか?」など、それぞれの特徴を聞きながら好みの種類を購入した。



深川産りんごは9月下旬から10月下旬をピークに11月上旬まで収穫作業が行われた。

今年は夏の猛暑の影響が心配されたが糖度も高く大玉傾向の年となった。このアップルフェスタに合わせ多くの品種を出荷していただいたことで、イベントには十分な量を確保できた。収穫されたりんごは、市内果樹園の直売所を中心に販売されている。

【青果課 浅沼】

深川特産「ねばり長芋」即売会

青果部

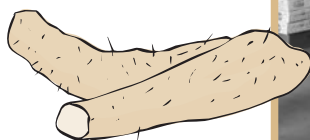
11月18日、19日の両日、青果部集荷施設や深川市道の駅「ライスランドふかがわ」など、深川市内3か所で、同市特産「ねばり長芋」の即売会が開催された。

「ねばり長芋」は、強い粘りと甘みが特徴で、穫れたてを特価販売する同イベントには、開場前から長蛇の列を作るほど毎年多くの買い物客が来場する。

即売会では、4Lや3Lなど大きい規格を中心に販売し、来場客は「この規格は何cmくらいのものが入っているか」「長持ちする保存方法を教えて欲しい」など、対応した生産者やJA職員に聞きながら、好みの長芋が入ったケースを購入した。販売開始から30分ほどで完売する規格も出るほど今年も盛況を見せ、当日来場した女性は、「毎年長いもを楽しみにしている。親戚や友人に贈ると大変喜ばれるので今日も沢山買っていきます」と話す。

「ねばり長芋」は、きたそらち根菜生産組合（河合暢組合長）の組合員4戸が1.4haに作付しており、今年は11月2日より同市メム地区で掘り取り作業が始まった。また共選作業も11月7日より青果部集荷施設で始まり、旭川の市場を中心に3,500ケースを出荷し1,250万円の売り上げを見込む。

青果部の担当職員は「今年は9月以降の高温の影響で収穫時期の判断が難しく11月に入ってから収穫と遅くなり大雨や降雪の影響で作業が進まず大変苦労する年となったが、今年も無事に即売会を開催することが出来て嬉しい」と話す。



『BEYOND～さらなる躍進へ～』

第43回空知管内JA青年部大会

11月17日、JA 空知青年部連合会（土屋陽輔会長理事）がホテル三浦華園（滝川市）で、「第43回空知管内JA青年部大会」を開催し、空知管内の各JAより総勢約100名の盟友が参加した。

開会にあたり、土屋会長は「農業者を取り巻く環境は数年で劇的に変化している状況だからこそ、青年部は前に進んでいかなければならず、そのような思いから本大会のスローガンを定めさせていただいた。本大会では、「JA青年の主張」をはじめ、様々な発表や報告会、講演が行われるが、年に一度の空知大会であるため、大きな拍手や声援等で大いに盛り上がりいただき、盟友の皆様が楽しめるような大会にしていきたい」と挨拶した。

開会式に続いて行われた「JA青年の主張発表大会」で、当JAからは深川支部の柏木洋輔氏が北ブロック青年部大会に続いて発表を行った。また「純農Boy空知オーディション」には、当JAより一已支部の亀上研太氏が出場し、手作りの顔はめパネルを使いながら当JAの紹介を行うアピールを行い、会場を盛り上げた。

大会の後に行われた懇親会では、余興として「アームレスリング大会」が開催され、北ブロック青年部の代表として当JAより一已支部の北村勇氣氏、松田晋里氏が出場し、他ブロック青年部の代表と熱戦を繰り広げた。

参加した部員は、普段交流の少ない他JAの青年部盟友と親睦を深め、地域を超えて結束を固めた。



衆議院議員いなつ久氏との対談
「みちばた対談」を実施

10月29日、稲津久衆議院議員が当JAを訪問し、JA青年部の駒村剛史部長と対談を行った。この対談は、稲津議員の公式YouTubeチャンネル「いなつ久チャンネル」の企画、「みちばた対談」の第3弾として実施されたもの。駒村部長は対談の中で、地元・深川市産米の紹介や、農業者をはじめとした農業関係者の仕事に対する思い、同部の代表として若手農業者の要望などを稲津議員に語った。

対談後は、その他の同部役員と合流し、稲津議員を囲んだ意見交換会が実施され、参加した役員は、農政に対する熱い思いを稲津議員に訴えかけた。

稲津議員と駒村部長との対談は、画像のQRコードよりご視聴いただけます。



ホクレンくるるの杜で 「農産物フェア」開催

10月22日、当JA青年部（駒村剛史部長）がホクレンくるるの杜（北広島市）にて「JAきたそらち農産物フェア」を開催し、部員16名が参加した。

同フェアは、当JA産の農産物をPRするために毎年この時期に開催しており、今年も、深川産「ふっくりんこ」、雨竜産「ななつぼし」、北竜産「おぼろづき」の新米をはじめ、胡瓜やカボチャ、リンゴなどの青果物、幌加内そばなどを部員自らが店頭で立ち来場者に呼びかけながら販売。商品の購入客には、青年部のファームレターを配布し、青年部活動のPRも行った。また今年は、お買い上げ1,000円ごとに深川産「ななつぼし（300g）」を1袋プレゼントする企画や、ハロウィン間近だったため北空知広域連に協力頂き「おもちゃかぼちゃ」を来場した子どもに無料配布する企画を実施し、どちらも大変好評だった。

この日は、天候にも恵まれ、またコロナ禍が昨年よりも落ち着いていたこともあり、例年よりも来場者が多く、用意した商品も全て完売するほど大盛況だった。札幌市からの来場客は「エスコンフィールド北海道に向かう途中に立ち寄った。きたそらちのお米は美味しいとよく聞いていたので、安く買うことができてよかった」と話し、また北広島市からの来場客は「毎年同フェアの開催チラシを見て来ている。今年は試食販売をやってくれたので、美味しいリンゴを食べ比べながら買うことができて満足。また来年も来ます」などと話した。

参加した駒村部長は、「今年もたくさんの来場者に当JAの農産物をPRでき、また完売という結果となり大変ありがたい。今後も青年部として積極的にPR活動を行っていきたい」と話した。



部員交流会を開催

11月10日、当JA青年部（駒村剛史部長）がJA研修センターにて「部員交流会」を開催し、各支部の部員やJAの青年部事務局・女性職員など約70名が参加した。

同部による部員交流会は毎年開催されており、今年も恒例の「ミニバレーボール大会」を実施。チームは各支部長をチームリーダーとし、その他の部員およびJA職員がくじ引きによって分けられ、支部混合チームとしてそれぞれ優勝を目指した。

試合中には、笑顔が多く見られ普段交流することが少ない部員やJA職員と協力し、交流を深めながら競技を楽しんだ。一已支部の亀上健太支部長が率いたチームが優勝、多度志支部の佐々木勝哉支部長が率いたチームが準優勝、北竜支部の川村祐太支部長が率いたチームが敗者復活優勝となった。

「ミニバレーボール大会」終了後は、懇親会を行い、チームごとに分けられたテーブルに分かれ、運動の疲れを労いながらさらなる交流を深めた。



北ブロック青年部 第43回青年部大会

11月14日、JA 空知青年部連合会北ブロック（川村祐太代表理事）が当 JA 研修センターにて「第43回青年部大会」を開催し、同ブロック青年部員55名（JAきたそらち39名、JA北いぶき12名）が参加した。

開会にあたり、川村代表が「青年の主張を発表される2名には、空知大会、全道大会に向けて日々練習してきた成果を出し精一杯頑張っていたきたい。本日の大会は、皆様のご協力のもと有意義なものにしたい」と挨拶した。

続いて、大会記念講演が行われ、(株)BASF ジャパンより郡山学氏と池町健太氏を招き、「栽培管理支援システム“xarvio（ザルビオ）”について」と題し、衛星画像と人工知能（AI）を活用した栽培管理最適化プラットフォームである「ザルビオ®フィールドマネージャー」の概要や導入・活用事例などについての講演を受けた。

「JA 青年の主張」では、当 JA 青年部深川支部の柏木洋輔氏が「私が農業と向き合うために」と題した主張を発表し、JA 北いぶき青年部沼田支部の斉藤健太氏は「じい、あとは任せな!」と題した発表をした。

大会終了後、同所にて行われた懇親会では、余興として「アームレスリング大会」が開催され、各支部より腕力自慢の部員がトーナメント方式で競い合い、当 JA 青年部一己支部の北村勇氣氏が優勝、北竜支部の松田晋里氏が準優勝となり、3日後に開催された第43回空知管内 JA 青年部大会への出場を決めた。



北ブロック青年部と拓殖大学北海道短期大学との

意見交換会

11月13日、JA 空知青年部連合会北ブロック（川村祐太代表理事）と拓殖大学北海道短期大学の学生との意見交換会が開催され、同ブロック青年部員23名（JAきたそらち15名、JA北いぶき8名）と、同大学生28名（環境農学コース26名、国際学部農業総合コース2名）が参加した。

開会にあたり同ブロックの川村代表（JAきたそらち青年部北竜支部長）が JA 青年部組織についての説明や同ブロック青年部活動を紹介した。その後、3班に分かれ「「地域農業の現状と将来目標達成に向けて」～いつ、なにを、どうやって～」をテーマとし、事前に学生から提出された質問をもとに各班で意見交換を行った。

部員からは、就農時の実体験や、日々営農の中で考え実践していること、学生からは今後就農する上での悩みや、農業の将来性などについて語り合った。

参加した学生は、「今後の就農についての悩みを青年部の方に聞いてもらい、また部員の方も同じ悩みを抱えながらも就農して、営農していることが知れて少し気が楽になった」「就農してから仲間づくりができるか心配していたが、部員の方の活動やそのメリットを知ることが出来た」などと感想を述べた。



カレッジあみていえ ハロウィンランタンづくり

10月20日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」3期生の第9講が開催され、受講生5名が参加した。当日は「ハロウィンランタンづくり」と題し、北空知産のおもちゃカボチャ「オータムオレンジ」を使用してハロウィンランタンを製作した。

受講生たちはそれぞれオリジナルのデザインで目・鼻・口などの顔パーツを型紙で作り、その型紙をなぞりながらカボチャにペンで直接顔を描いた。その後、カボチャの中身を取り出し、顔のパーツをくり抜く工程を経て、個性あふれる自分だけのハロウィンランタンを完成させた。

受講生たちは「カボチャを長持ちさせるためにしっかりとわたを取る作業が大変だったが、思った以上に良い物が出来た。玄関先に飾って楽しみたい」と話した。



女性大学カレッジあみていえ 2期生卒業旅行開催



農業
振興部

10月25日から1泊2日で、女性大学カレッジあみていえ2期生の卒業旅行が行われ、卒業生12名のうち10名が参加した。

1日目は、江別市にあるコープさっぽろエコセンターを見学。映像を見ながら施設の概要説明を受けた後、24時間365日稼働している施設内を見学した。実際に食品トレーや段ボール箱を処理しているところを見学することができ、次々と運ばれてくる資源物の多さに参加者たちは「改めて自分たちが日常の中でできることは何かを考えることができるいい機会になった」と話した。

次に、札幌市に移動し、野口染舗にて珈琲染め体験を行った。この珈琲染めは札幌市内のカフェで捨てられるはずだった出洩らしを天然の染料として活用しており、食品ロスにも繋がる。参加者らは模様や色の濃淡を考えながら旅の思い出となるオリジナルのエコバッグを作り上げた。

2日目は、北広島市に今年オープンしたクボタアグリフロントを見学。「農業は地球からの宿題」をテーマにした映像を見た後、施設内で最新のAIやロボットを使用して生育管理されているアスパラ、いちご、トマト、サニーレタスの栽培を見学。作る人、売る人、食べる人のバランスを保つには農業者の減少が一番の課題であり、それを補うためにアグリテックの活用が必要不可欠であることを学習した。

この卒業旅行は、新型コロナウイルスの影響で延期となっていたが今回無事に開催することができ、参加者は「普段は見られない場所、新しい体験でとても充実した旅行となった」と話す。



ボランティアグループあみていえ

市内小学校学童へ米粉パンを寄贈

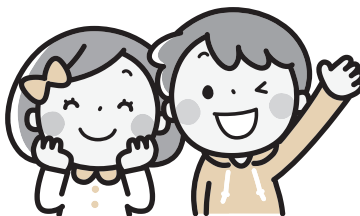


ボランティアグループあみていえは11月16日、深川市立一已小学校、深川市立深川小学校の学童保育へ米粉パンを寄贈した。会員11名が参加し、深川産のお米を使用した米粉パンを、アグリ工房まあぶにて加工・梱包した。

寄贈の際には、米粉の説明とともに、お米の特徴や豆知識などをクイズ形式で出題した。解答を聞いた子供達は「そうだったんだ!」「知らなかった!」と興味津々な様子であった。実食では、小麦のパンと全く違う風味や食感に驚きながらも、「いつものパンより甘くて、今日おやつで出て嬉しい」「ご飯は苦手だけど、このお米のパンはとっても美味しい!」と笑顔を見せた。

参加者は「子供達の笑顔や素直な美味しいという言葉が本当に嬉しかった。こういった活動を今後も続けていきたい。」と話す。

学童への米粉パン寄贈はボランティアグループあみていえにとって初めての試みであったが、今後も地域との繋がりを大切にしたい活動を続けるためにとても大きな一歩となった。



農業 振興部

「ふるさと多度志のそばと米」～そば打ち体験・黒米ちらし寿司教室を実施～

10月25日、深川市立多度志小学校の全校生徒18名を対象に「そば打ち体験・黒米ちらし寿司教室」を行った。同教室は、「ふるさと多度志のそばと米」を教育のテーマに当JAと連携して実現。

そば打ちでは、多度志産の新そば「キタワセ」を使用。また素人そば打ち段位認定制度の有段者である金融共済部の井上正恵部長が児童にレクチャーした。

初めてそば打ちを体験する児童が多く「水を入れたらおそばの匂いがした」「本当にこれがそばになるのかな」と興味津々でそば打ちの様子を見て学び、その後実際に参加した14名が、練り方や打ち方、切り方に苦労しながらも友達と協力し、親子で楽しみつつそば打ち体験を行った。

また同時に児童2名が令和5年産の新米「ななつぼし」と黒米「きたのむらさき」を使用した「黒米ちらし寿司」作りを行った。

生徒・保護者等併せて約50名分のご飯3升を炊き、ひき肉をそばろにしてトウモロコシと混ぜ合わせたちらし寿司は大好評だった。

昼食時には、自分で打ったそばと黒米ちらし寿司を夢中で頬張る様子も見られ子どもたちは「うどんみたいに太くなったものもあるけどとても美味しい」と感想を話していた。



そば打ち体験



黒米ちらし寿司作り

子ども向け食農教育事業 イペ・トイ・レシカ

～おにぎらず&パフェ作り・閉校式～

総務部

10月28日、今年度5回目のイペ・トイ・レシカ及び閉校式が行われ、自分塾生9名、子ども6名が参加した。はじめに、米の品種について豆知識なども交えながら職員がスライドで説明した後、深川産の新米「ゆめぴりか」「ななつぼし」「ふっくりんこ」を使ったお米の品種当てクイズを出題。子どもたちは「これは絶対ななつぼし!」「全然違いがわからないけど美味しい!」と盛り上がりながらクイズを楽しんだ。その後、それぞれが好きな米の品種を選び、たらこや肉、鮭フレークなどを入れオリジナルの「おにぎらず」を作り頑張った。

続いて、深川の特産品を味わってもらうことを目的としてパフェ作りを行い、アイスクリームや生クリームと共に旬の甘いリンゴとさつまいもを味わった。

閉校式では当JAの岩田清正組合長が「1年間で色々なことを学び、沢山の思い出ができたことと思います。大人になった時に、この思い出を振り返り、農業のことや農協のこと、この場所で育ったことを思い出してくれると嬉しい」と挨拶。その後、第1回から第4回までの活動の様子をまとめた動画を視聴し修了証の授与などが行われた。

今回参加した子どもたちは「品種当てクイズは難しかったけど、おにぎらず作りは楽しくて美味しかった」「イペ・トイ・レシカで深川の良さを知ることが出来て良かったです」「農業や自然の大切さ、大変さを知ることが出来ました」などと感想を話す。



JAきたそらち地域農業応援団第4回 ～太巻き細工寿司体験&りんご狩り体験～



10月24日、地域農業応援団第4回が開催され14名が参加した。今回は音江地区の「アグリ工房まあぶ」で太巻き細工寿司体験、同地区 株式会社藤谷果樹園でりんご狩り体験などを行った。

太巻き細工寿司体験は、普段作る太巻き寿司とは違い薄焼き玉子や食材の並べ方など工夫し、切った後切り口が『薔薇』に見えるように巻いた。団員は手際よく手順通りに巻き寿司を作り「思いのほか簡単にできた。ぜひ家でも作りたい」と話した。

昼食では深川産新米「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」「ななつぼし」の品種当てクイズを行ったが、新米の美味しさに惑わされ普段食べている品種を当てられない団員も多く「やっぱり深川のお米は美味しいね」と笑いながら和やかに懇親を深めた。

昼食後行われた、りんご狩り体験では田川大輔代表より同園で栽培しているりんごの品種や美味しいりんごの見分け方など説明を受け、慎重に吟味しながらりんごを採っていた。初めてりんご狩りをした団員からは「今度孫を連れて行きたい」「近くには買える場所があるのを知らなかった。今度直接買いに行きたい」など話し、改めて地域で栽培する農産物に恵まれていることを実感していた。

【総務部 墓田】





北竜町ひまわりライス生産組合・北竜町もち米生産組合

北竜町内福祉施設へ新米贈呈



10月27日、北竜町ひまわりライス生産組合（北清直人組合長）と北竜町もち米生産組合（藤井明紀組合長）が、町内の特別養護老人ホーム永楽園と認知症高齢者グループホーム碧水に、「ゆめぴりか」と「風の子もち」の新米を合わせて160kg贈呈した。

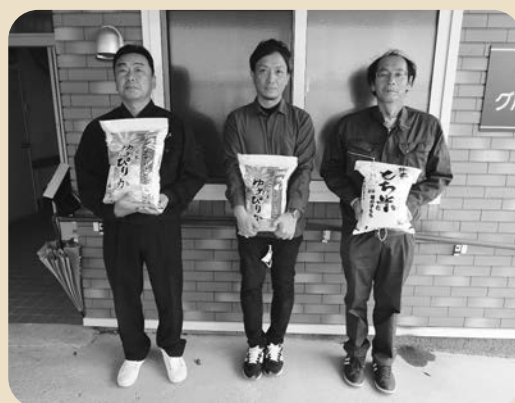
両生産組合では「地元産の新米を食べていただきたい」という思いから、毎年贈呈を行っており、福祉施設の入居者に喜ばれている。

当日は北清組合長と藤井組合長が施設を訪問し、「今年もおいしいお米ができました」と新米を手渡した。両施設からは「いつもありがとうございます。おいしくいただきます」とお礼の言葉をいただいた。

【北竜支所 鷲尾】



特別養護老人ホーム 北竜町永楽園



認知症高齢者グループホーム碧水

幌加内町うるち米生産組合・幌加内町もち米生産組合

幌加内町教育委員会へ新米贈呈



11月14日、幌加内町うるち米生産組合の中川祐哉組合長と幌加内町もち米生産組合の古林茂組合長、中西博副組合長が同町の教育委員会へ「ゆめぴりか」と「きたゆきもち」の新米を30kgずつ贈呈した。

「今年は高温が続いたため品質に影響が出たが、収量は平年並みとなりました」と作況の報告を行い、子どもたちに幌加内町のお米を味わってもらいたいと村上雅之教育長に手渡した。

贈呈された新米は、同町の小・中学校、高校の給食で振舞われる。

【幌加内支所 岩本】



納内支所年金友の会 温泉湯治

11月13日から14日の1泊2日で、納内年金友の会（川中裕会長）の令和5年度温泉湯治が4年ぶりに東神楽町のホテル花神楽で開催された。

例年は層雲峡温泉にて3泊4日で実施していたが、新型コロナウイルスの流行により中止されていたため、久しぶりの開催となった。

週末に初雪を迎えたことで、あたり一面は雪化粧の中、参加者は露天風呂などにつかりながら身も心も癒された。

夜の宴会には鶴岡恵司市議・吉田裕紀地区代表理事を迎えて盃を交わし、とても暑かった今年一年のそれぞれの出来事の談議に花を咲かせ楽しいひと時を過ごしていた。

【金融共済納内支所 盛本】



金融
共済部

雨竜支所年金友の会 温泉湯治

11月13日から15日までの3日間、雨竜支所年金友の会（吉見正弘会長）の温泉湯治が登別市にある「第一滝本館」で行われ、会員33名が参加した。

参加した会員は、buffetや御膳料理に舌鼓を打ち、泉質が豊富な温泉にゆっくり浸かるなどし、心身ともに1年間の疲れを癒した。

また帰りには、「わかさいも本舗登別東店」などで買い物も楽しみ、満喫した様子だった。

【金融共済雨竜支所 青山】





農作業事故に注意喚起

経済部

農作業安全講習会・コンバイン整備講習会

11月8日、農作業安全講習会・コンバイン整備講習会を開き、農作業時の事故防止を目的として注意喚起を行った。この日、講習会には22名が参加し過去の事故事例をもとに対策法などを学んだ。

ホクレン岩見沢支所 松浦周造考査役を講師に迎えて行われた農作業安全講習会では、農作業が天候に大きく左右されることや周囲の農家と作業の進捗状況を比較することから焦ってしまいゆとりを持った作業ができないこと、さらに気のゆるみや疲労の蓄積などが事故の原因となることを説明。

また、これからの農閑期には事故事例の確認を行い、対策を考えておくことが大切であるとし、「人はミスをする」という前提で、ミスをしてでも助かるような現場を作ることが大切」と松浦氏は話した。

続いて行われたコンバイン整備講習会では、ホクレン油機サービス小林史晃係長からエンジン部のベルトの消耗やオイルの不足・劣化、刈取部の刃の摩耗や破損など格納点検時のチェックすべきポイントが説明された。その後、実際にコンバインを使って、点検時に気を付ける点や点検箇所などの確認を行った。

この講習会を企画した車両機械課 大橋誠矢課長は「新規就農者や実習生が居ることから農作業安全講習会を開いてほしいという声があった。農作業事故の死亡事例が多く、2月・3月の除雪作業や来春からの農作業に向けて今回の講習会の内容を活かして頂きたい。また、整備については工賃などが値上がりする中で、自分でメンテナンスをしながらコストを抑えて農機具を使って欲しい」と話す。



読者の感想

10月号に寄せられたコメントを紹介!

当広報誌のクロスワードクイズへご応募頂いた、読者の皆様の「身近な出来事」「広報誌への感想」をご紹介します。ご応募ありがとうございました!

最近、JAきたそらちの広報誌を知り読み始めるようになりました。読むと楽しくてすっかり好きになってしまいました。

幌加内町新そば祭りが羨しかったです…。お蕎麦が大好きなので、新そばのあの食感たまらないです。

JAきたそらち野球部、頑張りましたね! 昔、女子ソフトボールも盛んでしたよ。メダルあります ✨

新嘗祭献穀田について、知っていても全く知らない情報でした。勉強になりました。

楽しい話題を故郷の地より頂いて、故郷のめくもりが伝わる。



JA職員 農作業実習報告 第2回

当JAでは、人財育成プログラムの一環として、入組2年目の若年職員を対象とした農作業実習を実施いたしました。近年、農家子弟以外の新規採用職員も増え、農業に対する接点も乏しいことから、農業体験を増やすこと、さらに組合員の想いを直接職員へ伝えていただくことを目的に、JA非常勤役員宅にて実習をさせていただきました。各実習生の感想と今後の抱負を第1回から第3回に分けて掲載しご報告させていただきます。

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
販売部農産課 和田 蒼士 (令和4年4月入組)			
①イチヤン地区 松田直人 代表理事専務		②令和5年5月19日～5月25日	
③田植え作業・片づけ、牛給餌作業			
④私はこれまで農作業を本格的に行ったことがなく、どこかで一度は経験したいと思っていたため実習はとても充実していました。田植え作業は23日で終了し、24日からは片付けと牛の給餌作業を体験しました。一頭一頭の状況を確認し、場合によっては餌の量を変えるなど良い牛を育てることの大変さを知ることが出来ました。また田植機に乗っている人が必要としていることに気づき行動する、肥料ひとつにしても事前にすぐ手に届く位置にずらしておくなど自分の考えと相手の考えを照らし合わせ行動することはまだまだ未熟だと感じました。私が経験した農作業は小学校の田植え体験などが最後でした。田植えの内容は話では聞いていましたが経験することが一番だと思っていました。その中で今回の農作業実習はJA職員として糧になる有意義なものでした。現場作業が多いため松田専務とお話させていただく機会は少ないですが積極的にお話させていただき、普段のご苦労や水稲や畜産について教えていただきました。松田専務、ご家族の皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございました。			
			
販売部畜産課 大岡 由貴 (令和4年4月入組)			
①音江地区 飯村英樹 理事		②令和5年6月26日～7月1日	
③きゅうり収穫作業			
④今回音江地区 飯村理事宅できゅうり収穫作業をさせていただきました。しかし、実習前に体調を崩し始め、実習期間中にお休みし大変ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんでした。日頃の体調管理の甘さが出てしまい、反省しております。実習中は暑い日が続き、きゅうりが育ちやすい環境が整っていました。2品種を植えることによって収穫時期をずらし、人手不足でも効率よく収穫から出荷までを行っており、課題(人手不足)との向き合い方、考え方は今後の業務に活かせるのではないかと思います。さらに、働きやすい環境が整っていることも印象的でした。働き手の都合に合わせて始める時間や帰る時間が様々、出勤する頻度も様々で空いている時に手伝える感覚はとても良いと思いました。そして小休憩が充実していることから、暑い日の身体への負担も少なく熱中症対策もしっかりとされていました。 このように環境を整えながら、人手不足の中でも人材確保のご苦労が垣間見える実習でした。飯村理事をはじめ皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。			
			

年末・年始 営業時間のお知らせ

金融共済店舗	12月29日(金)		12月30日(土)		12月31日(日)		1月1日(月)~ 1月3日(水)	1月4日(木)		1月5日(金)		1月6日(土)		1月9日(火)	
	窓 口	ATM	窓 口	ATM	窓 口	ATM		窓 口	ATM	窓 口	ATM	窓 口	ATM	窓 口	ATM
金融共済イチヤン本所	通常 営業		9:00~17:00		休		休		通常 営業		通常 営業	9:00~17:00		9:00 ゝ 16:00	
金融共済音江支所			9:00~12:00					9:00~12:00							
金融共済深川支所			休					休							
金融共済納内支所															
金融共済多度志支所			9:00~12:00					9:00~12:00							
金融共済雨竜支所															
金融共済北竜支所															
北竜町COCOWA															
金融共済幌加内支所															

経済部燃料課 (給油所)			12月29日(金)	12月30日(土)	12月31日(日)	1月1日(月)	1月2日(火)~ 1月3日(水)	1月4日 (木)	1月5日 (金)	1月6日(土)	1月9日(火)
セルフ	江川	通常 営業	通常 営業	9:00~15:00	休	9:00~15:00	9:00 ~ 15:00	9:00 ~ 15:00	通常 営業		
	音深										
フル	イチヤン			休		休					9:00 ~ 16:00
	内志										
	竜竜										
	幌加内										

青果部 道の駅直売所eciR

休業 12月31日(日)~1月2日(火) ※通常営業時間は9:00から17:00となります。

Instagramは
こちら↓



JA_KITASORACHI



Instagram・
YouTubeで
情報発信中!

YouTubeは
こちら↓





左から▶大橋誠矢課長、大西崇之、上埜未来、森智恵

経済部 車両機械課

大橋誠矢 課長からのコメント



イチヤン整備工場、音江整備工場、北竜整備工場、幌加内整備工場の整備修理などの売上業務、農業機械メーカーや農機販売店などからの売上業務、アルーダ（中古農機常設展示場）の運営などを担当しております。農業機械・自動車に係る営農・生活コスト低減つなげる情報提供に取り組んでまいります。



左から▶齊藤剛工場長、青木健、川本達也主査、前鼻輝義

イチヤン整備工場

音江整備工場

北竜整備工場

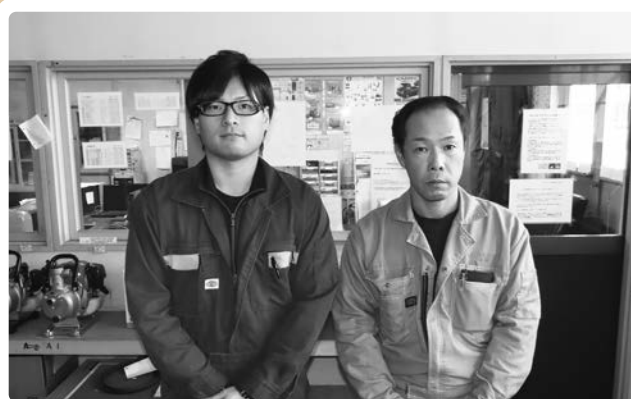
齊藤剛 工場長からのコメント



イチヤン整備工場は、JAきたそらちの広い地域の組合員の皆様の営農活動を支える為に、音江整備工場・北竜整備工場の3拠点8人の職員で業務しています。冬に備えてトラクターやリフトなどは格納済みとは思いますが、来春の使用前には是非ともタイヤの空気圧の確認・補充をお願い致します。



左から▶東貴宏主査、福田卓真



左から▶池田琢也、浅野和弘主査



後列左から▶池田浩平、荒井芽衣
前列右から▶齊藤徹工場長、藤本扶美子

多度志自動車整備工場

齊藤徹 工場長からのコメント



多度志整備工場は、車検・修理等に迅速に対応できるように努めてまいります。
また、専門的な知識を日々勉強し、今よりも幅広い修理に対応できる体制を目指しています。



左から▶賀屋昌直工場長、青木将史

雨竜自動車整備工場

賀屋昌直 工場長からのコメント



雨竜整備工場は、車両の車検整備・修理、小農機具の修理をメインに行っております。
みなさまのご利用をお待ちしております。



左から▶宮田光利工場長、松本好人調査役

幌加内農機自動車整備工場

宮田光利 工場長からのコメント



幌加内整備工場は、農業機械の整備修理や自動車の点検整備などを行っています。親切・丁寧な対応により、地域のための整備工場として頑張りますので、お気軽にご相談ください。

金融共済部からのお知らせ

予定利率変動型年金共済が

スゴイ!!

JAの予定利率変動型年金共済

毎年8万円の共済掛金で、一定の要件を満たした場合、
税金が**6,800円軽減**されます!

※課税所得が195万円超330万円以下の場合 ※一定の要件を満たし、税制適格特約を付している場合

つまり1年で
6,800円

年率8.5%の 利息と同じことです!

●所得税・住民税 軽減される額の早見表 (年金共済の年間払込掛金合計額が8万円の場合)

課税所得	所得税 (4万円控除)		住民税 (2.8万円控除)		1年間の 節税額	節税額の累計			年率
	税率	節税額	税率	節税額		10年間	20年間	30年間	
195万円以下	5%	2,000円	10%	2,800円	4,800円	48,000円	96,000円	144,000円	6%
195万円超～330万円以下	10%	4,000円	10%	2,800円	6,800円	68,000円	136,000円	204,000円	8.5%
330万円超～695万円以下	20%	8,000円	10%	2,800円	10,800円	108,000円	216,000円	324,000円	13.5%
695万円超～900万円以下	23%	9,200円	10%	2,800円	12,000円	120,000円	240,000円	360,000円	15%
900万円超～1800万円以下	33%	13,200円	10%	2,800円	16,000円	160,000円	320,000円	480,000円	20%
1800万円超～4000万円以下	40%	16,000円	10%	2,800円	18,800円	188,000円	376,000円	564,000円	23.5%

※令和5年1月末現在の法令等に基づいたものです。ただし、平成25年からの復興特別所得税は考慮しておりません。

※他の契約状況により、上記と異なる場合があります。

※税制適格特約の要件：共済掛金払込期間10年以上、年金受取人＝共済契約者またはその配偶者、年金受取人＝被共済者、年金支払期間10年以上かつ年金支払開始年齢60歳以上(定期年金の場合)

JAの予定利率変動型
年金共済なら
最低保証予定利率が
設定されているから
安心です!



お問い合わせは

JA共済

JAきたそらち

本所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨竜支所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北竜支所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。
また契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【23010011014】

金融共済部からのお知らせ

**JAの
予定利率変動型年金共済で
税金が還付される。**

例えば、
課税所得金額300万円
(所得税率10%)の方が、
年金共済で毎年8万円以上の
掛金を払い込んだ場合

所得税から4万円
住民税から2.8万円
控除できて

所得税の節税額
4万円×10%=4,000円
住民税の節税額
2.8万円×10%=2,800円

↓

6,800円/年

合計で**6,800円**
節税することが
できるんですよ！

4 私が30歳から
65歳までかけた場合
6,800円×35年
→ **238,000円**
も**節税**になるの！

3 以上の貯金が
必要じゃん！
これは掛金の
払込みをしている期間
ずっと続くから、
少しでも早く始めた方が
節税額も大きくなる
こと事！

2 定期貯金の利率が
0.002%の場合…
1年間で6,800円
利息を付けるには…

年金共済で
老後資金を準備すれば
年間**6,800円**
の利息が付くのと
同じなのです
ほっと…

7 **節税**
チャンス！
せっかくの
活用しない
手はないですよ
わっ！
JAには各保険料控除を
活用できる共済が全てあります！
ぜひ、お近くのJAにお問い合わせください。

6 個人年金保険料控除の他に、
■一般生命保険料控除
■介護医療保険料控除
■地震保険料控除
もあります。

5 厚生年金や
農業者年金に
加入されている
だけでは
老後の生活費が
不足する
ケースがあります

「個人年金保険料控除」が
使えます。

農業者年金や確定拠出年金
(iDeCoイデコ)とは別枠で
「個人年金保険料控除」が
使えます。

せっかくの節税枠は
使わないと
損ですよ！



石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第30回

「腐ったリン」にならない心意気を

「JAきたそらちの農産物の一つにリンゴがあります。私事になりますが、今から10年以上も前に妻に胃ガンが発覚。手術をし3分の2ほど摘出をし、以降、食もめっきり細くなり嗜好も変わってきました。『日本の米産地になる』を経営ビジョンに掲げている貴JAには申し訳ありませんが、それまで主食であった米はめったに口にしなくなり、時折、パンを口にするような日々が続ぎ、徐々に痩せ細る姿をみるのが忍びない今日この頃です。ただ、そうしかつての主食だったものに変わり、妻が以降、楽しみにし好んで食べるものがあります。アスパラから始まり、夏はサクランボ、冬場に向けてはリンゴというように。これらはJAきたそらちにおいては特産品であり、この収穫時期にそちらに向かう折には、必ず「道の駅」によりそれを購入し帰宅するのが日課になっています。今回はその内の一つ、リンゴに模した話をしましょう。辛辣な表題で恐縮ですが、あくまでも一つの例えでありますのでお許し下さい。以前、この情報誌にて「考え方の重要性」について話題にしました

が、それと関連するものです。私は職業柄、非常に幅広い人達とお付き合いをしています。そうしてJA職員の方々に感じるものの一つに、「ポジティブさや前向きさに欠けるのでは？」と感じることがしばしば。例えば何か新しいことを始めようとしたらどうでしょうか。皆さんはその時の周りからの反応の言葉にどのようなものか思い浮かびますか？第三者として見ていると「そんなことやってもムリ」とか、「時間が足りない」「など」という否定的な言葉が安易に飛び交っているように感じられるのです。中には「あなたは『やらない理由探し』をしているのではないの？」と思うことも。本人は悪気なく発言しているのですが、それを聞く者の気持ちとしてはウンザリしてくるものです。こうしたネガティブ発言は周囲の人を巻き込み伝播をし、組織全体にも影響を与え消極的な組織風土へと繋がっていく可能性大です。こうした「口癖」を持つ人は、協働を旨とする組織においては「箱の中の腐ったリンゴ」のように思われてなりません。もしこれを読まれているあなたが少しでも「そうである」と感じたなら、即刻、そうした考え方とオサラバすること

をあなたの為に提言します。「言霊（ことだま）」という言葉があります。昔から「言葉には魂が宿る」といい、こうした自分の発した言葉がいつしか現実の世界にあなたを導いていきます。としたら、肯定的で、明るく、響きの良い言葉を積極的に発することを心がけることです。そうしたポジティブ思考の人には不思議に同様の人が集まります。どちらにしても仕事上、非常に大切なのは自らが「モチベーションを高める人であれ」ということです。そうしてこれは単に個人だけの問題ではなく、組織の一員として「組織モチベーション」という観点から考えられるとより素敵ですね。どうせ口癖にするなら、仮に困難な状況に遭遇しても、「愚痴」や「不満」に繋げるのではなく、組織としての成果を意識しチャレンジする。自らを鼓舞する口癖を身につけること。そうすることやがてあなたの周りにポジティブ発想が広がり、間違いなく目にする景色が変わってきます。私は「組織を変えるには職場を変えること。職場を変えるには自分を変えること」と言いますが、結局は「まずは自分が変わる」こと。…これが出発点ではないでしょうか。



【著者】石田邦雄（いしだくにお）氏

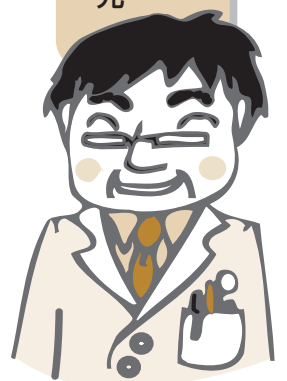
1946年北海道新得町生まれ。（有）石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかり易い研修が特徴。著書に「産業カウンセリング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。

骨粗鬆症の治療について

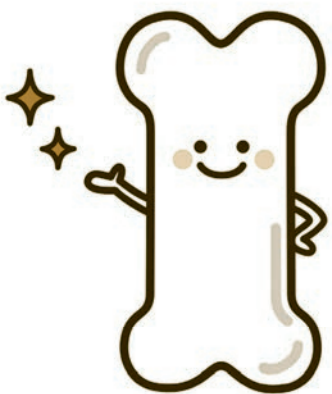
みきた整形外科クリニック 院長 三木田

光



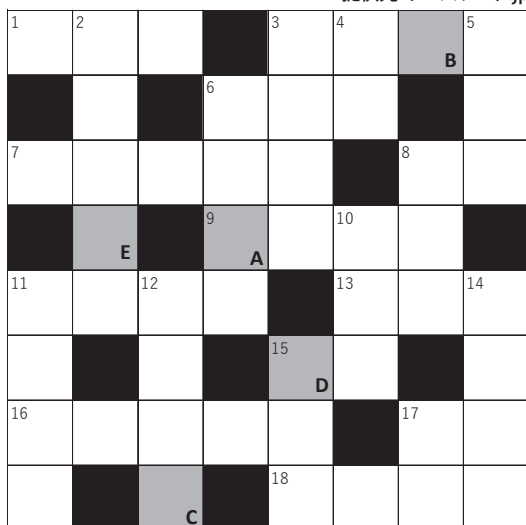
骨粗鬆症によっておこる大腿骨近位部骨折や脊椎椎体骨折は、患者さんの日常生活動作や生活の質を低下させ、さらには死亡率を高めることが知られています。2019年の調査から要介護の原因として第4位に骨折・転倒が挙がっており、骨折による介護負担の増加も懸念されています。こうした脆弱性骨折は、一度起こるとその後骨折の連鎖が起こり、健康度を大きく下げる結果になります。高齢化が進む日本では脆弱性骨折の原因となる骨粗鬆症の治療が大切になります。日本には約1400万人の骨粗鬆症患者がいると推計されていますが薬物治療を受けている患者さんは少なく、一度治療を始めても長く続かないことが指摘されています。脆弱性骨折の予防としては閉経後女性の検診による早期発見、治療が重要です。脆弱性骨折を起こした患者さんは即治療が必要となります。

骨粗鬆症の治療薬としてビタミンDが重要です。ビタミンDが欠乏すると、血清中のCa濃度が低下し副甲状腺ホルモンの分泌が上昇、骨吸収が優位となり、骨代謝が亢進、骨密度が低下します。ビタミンDには骨密度増加効果、椎体骨折の抑制効果が認められていますが、単独では十分といえないため、ビスホスネート薬やデノスマブと併用されることが多くなっています。今は採血によりビタミンDの不足、欠乏が調べられます。医療機関でご相談ください。ビスホスネート薬には豊富なバリエーションがあり、毎日 週1回 月1回の経口投与、月1回、1年ごとの注射剤があり患者さんの希望により投与可能となります。デノスマブは破骨細胞の分化を抑制することで骨吸収抑制効果を示す、6か月に1回皮下注射する薬剤です。骨密度増加効果は10年投与後も維持されています。副甲状腺ホルモンであるテリパラチドは毎日、週1回、週2回の皮下注射剤です。新規の椎体骨折の発生を抑制し、大腿骨近位部骨折の発生も抑制しています。2年間の投与が認められており投与後はビスホスネート、デノスマブの投与継続が勧められています。ロモソズマブは骨形成を促進し骨吸収を抑制する薬剤で、月1回の皮下注射で1年間投与します。骨密度増加や骨折予防効果が報告されています。一方心血管系の副作用が報告されており慎重投与が勧められています。以上多種の薬剤による治療が可能となっていますが、継続することが大変重要です。整形外科医とよく相談して治療を行ってください。



クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

10月号の正解は

「イタズラ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 松原 郁子 様
北竜町 川田 富江 様
北竜町 中村 奨平 様

【タテのカギ】

- 道が分かれる所。進路が分かれる所。
- 考え方や意味がよくわかること。「○○○○する「○○○○」がいかない」
- 3.1415926...=円周○○
- 招かれた人。訪ねてきた人。「来○○」「珍○○」
- 通貨価値が下がり、物価が上がり続ける現象
- 東側の土地。⇄西部
- 自分の生まれた国。母国。
- 品種改良や繁殖の目的で、雌に優良種の雄を交配させること。
- ヨーロッパ南東部の国。地中海に面し、暖かい。首都はアテネ
- 野球などで、投手が力の限り投げること。
- 数を記すのに用いる文字。1・2・3・4...
- 書かれた文字。書いてまとめた物。書物。

【ヨコのカギ】

- 妊娠初期の女性に現れる食欲不振・吐き気・嘔吐・嗜好の変化などの症状
- 物事が自然に推移していく様子や過程。「事の○○○○」「○○○○に任せる」
- 『ひとつ』の5倍。5歳。
- 贈り物。「クリスマス○○○○○」
- もうけ。利益。「○○をする」
- 衣服を身に着けた時の様子。みなり。「似たような○○○○」
- 火が十分に燃えないまま途中で消えてしまうこと。「○○○○線香」
- 雨や雪が少しだけ降っている様子。
- くしなどで髪を整えること。ハサミで髪の毛量を減らすこと「髪を○○」
- 正式ではないが、世間一般に通用している名称。通り名。
- 使い道。「○○不明金」
- ある目的をもって継続的に行う経済活動。仕事。「○○○○内容」

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切12月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和6年1月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課

FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



十一月俳句

●雨電俳句会

住み慣れしこの地も僅か秋の風
風となる御霊はいずこ秋彼岸
初霜や起されば消える遅い朝
あつてなく刈田の町となりけり
レシビ増え少し多めに大根蒔く

北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

●「道」俳句会 北竜支部

着膨れの一枚脱がすチャイム音
地底人いるのか大根電波銃
ストーブの灰となりゆく古き文
冬晴れや予定の刻に子からの荷
親子等の声筒抜けや林檎狩
ハロウィンの絵も踊りだす宴の夜
弟よふるさと遠く霜の朝
街路樹の実が一つ落つ初時雨

山本 玲子
山岸 正俊
阿部れい子
吉尾 広子
山下 好晴
中島 雅子
宮脇美和子
佐藤美智子

●土筆俳句会

靄こめし昼なほくらき峠茶屋
老人の派手なネクタイ天高し
潤いの日々また来期庭仕舞う
座布団に眠る赤子の小春かな
爆竹に飛び立つ群れや秋暗し
気がつけば十一月か時走る
黒葡萄甘く黒い目友の犬
ポスターの濡れてる瞳小夜時雨
銀杏散る一段落の庭仕事
立冬やプラごみあふる収集車

高尾美津子
池田 美知
山川 輝子
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
沼田留美子
小橋 厚子

第11回理事会〈令和5年10月31日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 令和5年度出資増口について
6. 職員の人事及び業務事故について
7. 令和5年12月営農懇談会日程について
8. 北海道農業協同組合検査の実施について
9. 貸出金の貸付報告について
10. 令和6年産「生産の目安」設定の方向性について
11. 令和6年産水稻の作付意向調査の実施について

12. 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量について
13. うるち米を巡る情勢について
14. 令和5年産 米集荷状況について
15. 令和5年産 農産物集荷状況について
16. 畜産物の販売実績について
17. 青果・花き集荷販売実績について
18. 令和5年度 農薬予約奨励金支払について
19. 令和6年度 温床資材の価格設定について
20. 令和6年度 農薬及び温床資材の予約推進について
21. 経済部事業実績について

議案第1号 公用印管理規程の一部改正について

議案第2号 マネー・ローndリング等への対応に関する規程の一部改正について

議案第3号 マネー・ローndリング等および反社会的勢力等への対応に関する基本方針の一部改正について

議案第4号 貸出金の貸付について

議案第5号 令和5年産うるち米追加概算払い（2回目）の設定について

議案第6号 固定資産の取得について



組合員の動き

(令和5年10月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,250	3	41	1,212
	団体	102	3	0	105
准組合員	個人	5,477	65	50	5,492
	団体	271	4	0	275
正組合員戸数		893	1	25	869



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和5年10月実績

○累計（R4.12～R5.10）

発電電力 **46,315kWh**

発電電力 **488,602kWh**

計画対比 +16,064kWh

計画対比 +89,254kWh

前年対比 +1,866kWh

前年対比 Δ39,129kWh

売電金額 1,852,600円（40円/kWh）

金融共済部からのお知らせ

令和5年農業災害等にかかる金融支援対応のお知らせ

日本政策金融公庫資金

農林漁業セーフティネット資金【下記資金共通】

※災害についての市町村長の罹災証明 **不要**

- 借入期間：15年以内
- 決定期限：令和6年3月31日迄
- 利率：9年以内0.65%、9年超10年以内0.75%
10年超12年以内0.85%、12年超14年以内0.95%
14年超15年以内1.05%
(令和5年11月20日現在)
【貸付当初5年間実質無利子化措置】
- 担保：実質無担保・無保証人措置

①新型コロナ特例

- 借入限度額：【一般】1200万円以内
【特認】年間経営費又は粗収益に相当する金額のいずれか
低い方の12/12以内
- その他：印紙税非課税対象

②ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰への特例

- 借入限度額：【一般】600万円以内
【特認】年間経営費又は粗収益に相当する金額のいずれか
低い方の6/12以内

JA資金

JA農業経営緊急支援資金

- 借入期間：原則5年以内（特例最長10年以内・1年以内の短期貸付も可能）
- 実行期限：令和6年3月31日迄
- 借入限度額：借入通算残高1,000万円以内
ただし、売上高が5,000万円超の場合は売上高の20%以内
- 利率：5年以内1.00%、6年目以降0.65%
- 利子補給：当初5年間は利子補給1.00%により実質無利子化
- 担保保証：必要に応じて担保設定、または北海道農業信用基金協会保証を付保
- 保証料助成：全期間（最長10年間）、最大0.5%助成 ※一括前取とする

詳しくはお近くのJA窓口までお気軽にお問合せ下さい。



本所 TEL 0164-22-6619
音江支所 TEL 0164-25-1111
深川支所 TEL 0164-22-2171
納内支所 TEL 0164-24-2211

多度志支所 TEL 0164-27-2111
雨竜支所 TEL 0125-77-2331
北竜支所 TEL 0164-34-2280
幌加内支所 TEL 0165-35-2024

■発行／きたそらち農業協同組合 〒074-0015 北海道深川市深川町メム10号線山3線5850番地 TEL 0164 (22) 6600 FAX 0164 (22) 8611
<http://www.ja-kitasorachi.com> ■編集／農業振興部 営農企画課 ■印刷／株式会社 須田製版